

## 17 地下タンク貯蔵所の埋設注入管が切断されていたため 荷卸し時に重油が流出した事故

### 1 発生年月

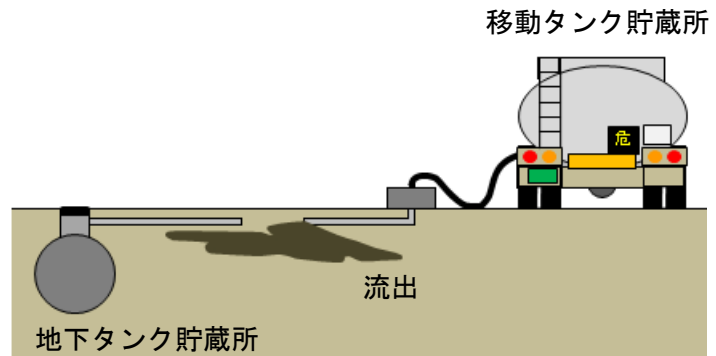
平成22年6月

### 2 施設区分

地下タンク貯蔵所

### 3 物質区分

第4類第3石油類（重油）



### 4 事故概要

ガス工事業者が埋設ガス配管の交換工事中、地下貯蔵タンクの注入管を切断してしまった。翌日別の業者が移動タンク貯蔵所から地下貯蔵タンクに重油を荷卸しした際、切断された箇所から重油が約700リットル流出した。

### 5 事故原因

ガス工事業者が埋設ガス配管の交換工事中、地下貯蔵タンクの注入管を切断したが、使用していない配管だと判断し施設側の担当者に報告を行わずそのまま埋め戻したため、移動タンク貯蔵所からの荷卸し時に重油が流出した。

### 6 対策

- ・ 掘削工事を行う際は、施設側と工事業者側との間で埋設配管の位置等を確認しておく。
- ・ 施設側の担当者が工事に立ち会い、工事が的確に実施されているか確認する。

### <関連する保安教育資料>

「6 工事における注意点」（平成20年3月発行）